關大
発行所
関西大学校友会
吹田市山手町3丁目3番35
発行人 神屋敷民蔵
電話大阪（388）1121代表
振替口座大阪55594番

コンタクトレンズ
メガネ
大学堂
京橋京阪ショッピングモール
ミナミ地下センター虹のまち
心斎橋
阪神百貨店
第一生命ビル専門大店

47年度 大学の収支予算決まる

昭和四十七年度の関西大学収支予算は、三月三十一日開かれた評議員会で審議され、承認議決された。本年度は学費が値上げされた最初の年であるが、予算編成の大綱は、一、教学内容の充実、二、職員の待遇改善、三、施設の充実の三項目を重点目標として編成されている。（以下「関西大学通信」第二六号より抜粋）

三項目を重点目標

施設ではグラウンド整備など

一、教学内容の充実について

教学内容の充実については、教育職員の増員、一般図書費、個人研究用図書費、学会出張旅費、教育研究機械器具および実験実習費等の増額により内容の充実をはかった。

二、職員の待遇改善について

昨今の経済状況のもとでは年々の諸物価の高騰は避けられない。職員の生活の安定をはかるためには給与の改善は必至である。本年度も人事院の勧告などを勘案してベース・アップを見込んだ。

三、施設の充実について

施設の整備充実のため、総合グラウンドの造成整備および実験実習場の増改築等を計画した。

以上の充実に要する資金は、今回実施した学費の改訂による増収のほか寄付金、補助金および借入金などをもってまかなう予定である。次に資金収支計算書についての概要を説明する。

▽収入の部△

学生・生徒納付金収入および手数料収入の合計額は、学費の改訂により昨年度に比較して一九%の増収となった。

補助金収入のうち国庫から受ける経常費補助金は、国家予算の増額約五〇%を考慮して増額計上した。

その他の収入は、前受金収入、中学校特別教室の建設資金として特定基本金からの繰入れと、特定預金からの繰入、貸付金の返還金の収入、前年度未収入金の収入、年度末預り金収入がその内容である。

▽支出の部△

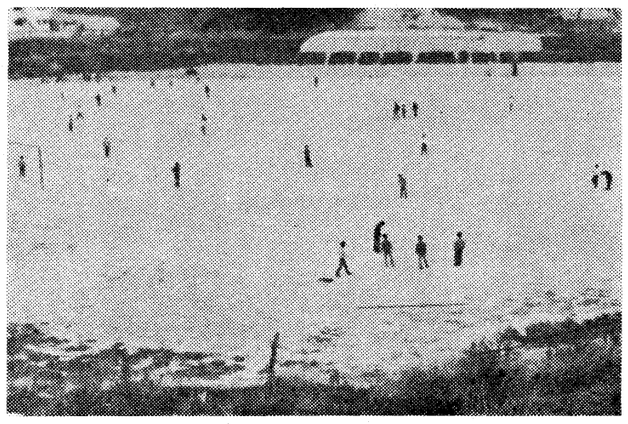
人件費支出は、教職員の給与・退職金・年金および社会保険料等の総額である。本年度は待遇改善のため定期昇給四%およびベースアップ七%を予想して計上し、その他諸手当の増額を含め昨年より一三・八%の増額となった。

教育研究経費および管理経費は経常の運営諸経費である。本年度は物価の上昇による諸費用の増高とそれぞれの実情を勘案して平均九・二%の増額となった。

施設関係支出は、教育施設充実のため長期建設計画に基づき、学園建設委員会の答申を受けて工学部実験実習場の増改築、グラウンドの造成整備等の工事を計画した。

設備関係支出は、特に教育研究用図書の充実をはかるため一般図書の二〇%、個人研究用図書の三〇%の増額を実施し、教育用機械器具においても一〇%程度の増額を行なった。

その他の支出は、奨学金（昨年度の倍額）、住宅資金、厚生資金などの貸付金および未払金、預り金等の支出である。


整備される第三グラウンド

47年度 就職状況

一千二百から求人

自由応募で二割が決定

昭和四十七年度の就職は、四月に入って本格的に始まり、就職課では、五月中旬から斡旋を開始したが、就職資料室などは希望の会社を捜す学生で連日こったがえしている。

今年の就職は昨年よりもさらに約一カ月早くから開始され、学生は昨年十二月頃から会社訪問を行ない、自由応募（学校の斡旋なし）で試験を受けている。一方会社側でも金融・証券・保険関係などでは、早いところで一月から、ほとんどが三月中旬までには採用試験を実施し、学生の二年生時の成績をもとに内定している。

しかし、採用試験が一月早くなった割には決定率はあまり伸びておらず、採用基準が厳しくなってきていることを示している。現在までに文科系では就職希望者の二〇%程度が内定している。技術系では、メーカーの採用試験が四月中旬からが多いので、約三%程度の内定となっているが、ほとんどの学生は試験の結果待ちといった状態である。

また十月以降だったので、昨年の大勢にはあまり影響のなかったドルショックも今年はかなりの影響を受けそうである。実際に機械・鉄鋼・造船・化学工業・繊維関係などでは採用しない会社もあり、採用しても人材を減らしているところが多い。反面、総合商社などはドルショックの影響で採用の減ることが予想されていたが、そうでもなかったようである。

現在までに、大手から中小まで求人は約二二〇〇社からきており、学生も昨年は就職戦線にのり、学生の就職希望者先は、マスコミ・広告・出版関係や旅行斡旋などはでな職場が多く、また金融・証券・組合など不況に強いといわれる会社なども希望者が増えている。

なお、昨年の就職状況は、求人数五六〇〇社で、一昨年より四～五〇〇社減っているが、これは就職開始が早くなり、自由応募で内定してしまい、求人を大学に出さない会社があったことと、ドルショックによるものと思われる。また十月以降に内定したものが多いので、採用試験は厳しいが、今年は早くから活動を始めているので、採用試験は昨年並みの完全就職が予想される。

21日千里山体育館で開催

教育後援会総会・父兄懇談会

関西大学教育後援会では、昭和四十七年度総会を五月二十一日午前十時から千里山学舎体育館で開催する。議題は、昭和四十六年度事業報告、昭和四十六年度会計報告、役員改選、その他。

総会終了後は各学部に分れて、父兄懇談会を開く。各学部の懇談会は学部によって多少違うが、ほぼ次のような内容である。全体的懇談会―各学部の教育を中心に大学における「学問への道」について説明。学部を中心に大学の現状および当面する諸問題について報告。大学の諸問題・学生生活・就職問題等質疑応答の形で全体的な懇談する。

学年別・個別懇談会―一年次・学科の学習と将来の進路、大学年間行事・課外活動など大学生活とそのあり方、大学と家庭など。二年次・学業成績状況と今後の学習上の諸問題など。三年次・卒業要件と学習計画、今後の進路（進学・就職）など。四年次、卒業論文と具体的な問題について担当者が親しく相談にのる。

第12回泊園記念講座

六月三日開西大学会館で

幕末に藤沢東畝先生によってひらかれた泊園書院は、第二代南岳先生が勤王志士たちによって尊敬された名師であることによって、次欧州大戦が終わった頃ですね？

岡野 そうです。戦争で株式市場は未曾有の大景気。いわば黄金時代でした。もちろんこの景気は、大正八年の下期には若干警戒の懸念もあったんですが、それでもまだ株価は騰貴をつづけ、九年に入っても市場は活況を示し、売買高は累増の一途をたどるばかりで。この事務処理が限界になったので、新規に所員を採用することは、徒らに人心に不安の念を与えるばかりでなく、財界に及ぼす影響も大きいので、八日から市場の立会いを再開しました。これは、まさに暗夜に光明を感じたようなもので、わが国に二つの中心市場があることが、いかに有利であるかということを証明したものですし、もしもこの時、全国市場で全然立会いが行なわれないということになると、世の中は全く暗ヤミになってしまうところでした。それから昭和二年の金融大恐慌、金の輸出解禁で未曾有の不景気。昭和十二年には満州事変が勃発、そして大戦争、敗戦。昭和二十四年証券取引法による取引所の再開と、日本の国も目まぐるしく変わってゆきました。そして、北浜はつねにその動きの先端に立っていたわけで、その中で働きつづけていたわたしと北浜とのつながりは、ちょっとやそっとでは話し切れません。関西大学の専門部へは、取引所へ入所した年の四月に入学したのですが、いまお話したような状態ですから、学校へは週に一、二度しか出られず、休みの日には友人から借りたノートを写すのが精一杯でした。良い友人がいたから卒業出来たんだと思っています。

吉田 そこでお導き致します。現内閣の大黒柱が揺れ動き、経済界も不安定、五月十五日に沖縄が返還されても、その後の方策はハッキリしない。さらに中国問題、北鮮問題など、次から次へと大きな問題が山積みされている現在、これからの株界はどんな動きを見せるとお考えでしょうか？

岡野 ひとことにいって、波乱に富んでいるということは事実。予測は極めて困難です。貿易の状態から見ても第二次円の動きも考えられるし、インフレの気配も濃厚です。沖縄返還はうれしいことだが、沖縄景気を期待することは無理でしょう。それに、大企業が土地の買占めにかかっているのに対して、無策であることも思想をさらに悪化させることにもなる。まことに困ったことです。

吉田 姓命判断の大権威だという方なら聞いていますが……。

岡野 母を十才で失い、人間ははかないもの、運に支配されるものだと思うようになり、それから姓命学や人相、手相、地相、家相などに凝り始めました。十八、九才頃から、あらゆる書物を買い集めて、ひとりで勉強していたのが、〇つの間にか知れわたって、全国のあちこちから頼まれて、名前を考えてあげた方が五百人以上にもなります。しかし、専門家でも権威でもなんでもありません。

吉田 これからの日本がどうなってゆくのか、ひとつ占っていただけませんか。

岡野 占い師じゃありませんし、そればチト無理ですな。（笑い）

吉田 いや、これはどうも。お忙しいのに、つまらんことばかりお聞きしてすみません。（笑い）

岡野 衛士氏（おかの・もりと）
大阪証券会館社長・大阪証券取引所顧問
関西大学・同校友会各顧問
関西大学経済人クラブ会長
大正十一年専法卒

お時間拝借

校友あれこれ対談

大阪証券会館社長 岡野衛士氏

聞き手 吉田三七雄

—15—

岡野衛士氏

吉田 いつお目にかかっても、大変お元気で。

岡野 いや、どうも有難う。

吉田 失礼ですが、おいくつで？

岡野 数えの七十五だから、満でいうと七十三です。

吉田 ご病気など、なさったことはないんでしょ？

岡野 おかげで、これまで寝こむような病気は知りません。

吉田 結構ですねえ。ますますガン張っていただかなくっちゃ…。ところで、いつもお世話になり放しで、岡野先輩のことについては知らないことがいっぱいあるんですが、今日はなにを承わってもお許し願います。

岡野 えらいこわいいい方だねえ。（笑い）覚悟します。（笑いながら）

吉田 別に、こわい質問じゃありません。（笑い）岡野さんは、北浜の王（ぬし）だと、いや、これは、わたしがいってるんじゃなく、みなさんそうおっしゃるんです。（笑い）北浜の証券取引所へお入りになったのは、いつ頃のことなんです？

岡野 入所したのは、大正九年三月一日で、二十一才の時でした。

吉田 大正九年というと、第一次欧州大戦が終わった頃ですね。五日の歴史的な株の大暴落です。貿易の大入超が原因ですが、相場の惨落ぶりは大変なもので、覚えている数字で申しますと、三月一日の鐘紡の株価が五百七十円だったのが十五日にはガタンと落ちて四百七十六円、四月七日には三百九十三円、十三日になると三百六十七円に落ちました。また大株は十五日に五百四円であったのが、十五日に四百十円、四月七日には三百二十円、十四日には一百ヤミになってしまうところでした。

波乱の多い経済界

予測はきわめて困難

吉田 そうすると、北浜生活五十二年ということですね。もちろんいろんなことがあったでしょう？

岡野 ありましたねえ。まず、入所して十五日目にえらいことが起こったんです。大正九年三月十七日の歴史的な株の大暴落です。それに応募して、うまく試験にパスしたんですが、それからずうーっと北浜に腰をおろしているというわけです。

吉田 そうですね。もちろん、北浜生活五大正十二年九月一日には関東大震災。大阪では震災の模様が分るまで市場を休むことになり、七日まで立会いを休止しましたが、災害の中心地はとも角として、大阪市場がいつまでも立会いを休止するようになったんです。それに応募して七十円という、僅か一カ月間でこれだけの大暴落でした。入所して最初の試錬としては、あまりにも大きく、また強いものでした。市場がようやく落ちつきかけてきた大正十二年九月一日には関東大震災。大阪では震災の模様が分るまで市場を休むことになり、七日まで立会いを休止しましたが、災害の中心地はとも角として、大阪市場がいつまでも立会いを休止するようになったんです。それに応募して七十円という、僅か一カ月間でこれだけの大暴落でした。入所して最初の試錬としては、あまりにも大きく、また強いものでした。市場がようやく落ちつきかけてきた大正十二年九月一日には関東大震災。大阪では震災の模様が分るまで市場を休むことになり、七日まで立会いを休止しましたが、災害の中心地はとも角として、大阪市場がいつまでも立会いを休止するようになったんです。それに応募して七十円という、僅か一カ月間でこれだけの大暴落でした。入所して最初の試錬としては、あまりにも大きく、また強いものでした。市場がようやく落ちつきかけてきた大正十二年九月一日には関東大震災。大阪では震災の模様が分るまで市場を休むことになり、七日まで立会いを休止しましたが、災害の中心地はとも角として、大阪市場がいつまでも立会いを休止するようことも聞いていますが……。

岡野 母を十才で失い、人間ははかないもの、運に支配されるものだと思うようになり、それから姓命学や人相、手相、地相、家相などに凝り始めました。十八、九才頃から、あらゆる書物を買い集めて、ひとりで勉強していたのが、〇つの間にか知れわたって、全国のあちこちから頼まれて、名前を考えてあげた方が五百人以上にもなります。しかし、専門家でも権威でもなんでもありません。

吉田 これからの日本がどうなってゆくのか、ひとつ占っていただけませんか。

岡野 占い師じゃありませんし、そればチト無理ですな。（笑い）

吉田 いや、これはどうも。お忙しいのに、つまらんことばかりお聞きしてすみません。（笑い）

岡野衛士（おかの・もりと）
大阪証券会館社長・大阪証券取引所顧問
関西大学・同校友会各顧問
関西大学経済人クラブ会長
大正十一年専法卒

三氏に博士号

「関西大学学位規程」により審査に付されていた、文学教授谷澤永一、講師土部弘、講師井村哲夫の三氏への文学博士学位授与が、三月一二日開催された大学院委員会で承認され、五月八日午後三時から関西大学会館二階貴賓室で授与式が行なわれた。

谷澤永一（たにざわえいいち）
▽論文 日本近代文芸評論史研究その一明治期の文芸評論、その二大正期の文芸評論、その三近代日本文学史の構想
▽昭27関西大学文学部国文科卒、昭29同大学院文学研究科修士課程修了、昭32同博士課程単位取得
▽昭30関西大学助手、昭34同専任講師、昭37同助教授、昭43同教授

土部 弘（はにべひろし）
▽論文 現代文章様式の研究―言語表現の機構と文章の構成原理―
▽昭26関西大学文学部国文学科卒
▽現関西大学講師・大阪教育大学助教授

井村哲夫（いむらてつお）
▽論文 万葉集作家研究、その一憶良・虫麻呂編、その二榛大后也
▽昭35関西大学大学院文学研究科修士課程修了 昭38同博士課程単位取得のち退学
▽現関西大学講師・園田学園女子大学教授

た九月以降中だるみの感じで、就職率が伸び悩んだが、これは求人件数があったにもかかわらず、学生がドルショックを考え、会社を選ぶのに慎重になったためと思われる。

関大人事

【退職】
▽出版・広報部 里見復二
▽就職課 渡辺五郎

【事務職員】
参事 ▽法学部 筒井すや子 ▽文学部 山田寿美子
主事 ▽図書課 小西則子
主事補 ▽総務課 河野ツヤ子
技師補 ▽文学部 松永稔
用務員 ▽専門図書館 有馬福本 ▽一高 灰野好太郎 森セツ

【新任】
▽文学部 林ひさ子 平塚恵津子
主事補 松代学子
技師補 ▽保健管理センター 浜野順子 浅井恒雄
▽総務局 安達とし子 井上由美子 井畑澄江 大沢京子 大千鶴 川力智子 瞿本恭子 中

雇員 ▽総務課 木村敏子 山口秀雄 ▽橋口和枝 浜田明男 益田正道 室屋郁夫 和田徹
嘱託 ▽出版 広報部 里見復二
臨時雇用員 ▽守衛 服部義郎 ▽雇員 西村恵子

【昇任】
主任 岩村護 木下正信 霜上健祐 中浜道彦 山田輝彦 阪口辰夫 美崎良史
主事 伊藤秀雄 西岡雅史 島田喜美 浜本賢治 永島みどり 松本奈巧美 根来純子 村上弘孝 吉田多輝子 ▽図書館運営課 柿崎道子 ▽総務課 松浦早苗 ▽庶生課 岸本三郎
技能員 ▽施設課 河合運
技術員 ▽工学部 斉藤道夫
守衛 ▽総務課 竹内鉄弥

技師 石田和利 森本甫
主事補 池田早和子 清水邦子 相馬真由美
技師補 高橋豊一 西海欣一 藤木直朗 長廉正寿

【異動】
▽出版・広報部長事務取扱を委嘱 常務理事 今井康兼

大川克夫教授逝去

大川克夫文学部教授は、五月十一日午前九時五十分、肝硬変のため逝去された。葬儀は五月十六日午後二時から高槻市富田町の本照寺で執り行なわれた。

同教授は、昭和28年本学文学部仏文学科卒業、同30年早稲田大学（院文学研究科仏文学専攻）修了、同34年関西大学専任講師、同37年助教授、同43年教授。専攻は語学フランス文法でモリエールの作品の研究などがある。昭和40年夏、フランス政府に招かれ語学講習会に出席、引き続き一年間研究された。

三氏に春の叙勲

▽勲三等瑞宝章
上西康之（竜之助）（大9関甲）日栄証券会長

▽勲四等瑞宝章
松村睦鴻（大15大法）元国鉄大阪駅長、代議員会議長

▽勲四等旭日小綬章
安長義美（昭7専法）公証人

校友会主催・第3回海外視察

韓国の古跡・博物館見学

日本文化の源流

記

▽日時 7月9日（日）～14日（金）

▽主な行程 ソウル、扶余、慶州等の古跡、博物館を関西大学考古学教室網干善教助教授の現地案内で見学、ソウル、釜山等で韓国同窓と交歓

▽会費 八三、五〇〇円

▽定員 三八名（申込順）

詳しいことは、吹田市千里山、関西大学会館内、関西大学校友会事務局（電話大阪三八一一二二）にお問合わせ下さい。

関西大学校友会

明日香村の高松塚古墳の発掘で、極彩色の壁画が発見され、日本文化の源流の解明に関心が高まっている今日、校友会第三回の海外視察として韓国の文化遺跡を見学し、韓国同窓との交歓をはかるため、左記の要領で実施することになった。

会を催し

◇昭和四十七年度定例代議員会
六月三日（土）午後二時、大阪北区若松町の「大阪弁護士会館」で開催。

◇十三会総会 六月十日（土）午後五時、南区の「いろは」にて開催。

◇関西大学電友会OB総会 六月十一日午後一時半 関大工学部大集会室（連絡先）電気通信研、小長谷 TELO六（三八八）一二一一内線八四八

関西大学昭和47年度資金収支計算書

（単位・千円）

支出の部 科目	47年度予算	46年度予算	比較増△減
1、人件費支出	2,545,461	2,236,063	309,398
2、教育研究経費支出	596,370	559,677	36,693
3、管理経費支出	115,416	92,246	23,170
4、借入金利息支出	151,230	86,299	64,931
5、借入金返済支出	767,658	292,795	474,863
6、施設関係支出	261,090	39,594	221,496
7、設備関係支出	238,134	211,538	26,596
8、資産運用支出	1,207,180	1,276,589	△ 69,409
9、その他の支出	138,663	41,000	97,663
10、予備費	20,000	10,000	10,000
11、資金支出調整勘定	△ 60,000	△ 10,000	△ 50,000
12、年度末現金預金	40,590	16,000	24,590
支出の部合計	6,021,792	4,851,801	1,169,991

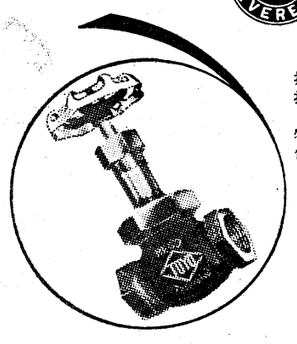
収入の部 科目	47年度予算	46年度予算	比較増△減
1、学生・生徒納付金収入	3,106,027	2,610,717	495,310
2、手数料収入	345,037	281,427	63,610
3、寄付金収入	79,560	89,700	△ 10,140
4、補助金収入	393,640	232,330	161,310
5、資産売却収入	117,105	96,399	20,706
6、資産売却収入	10,000	101,000	△ 91,000
7、事業収入	29,700	36,600	△ 6,900
8、雑収入	11,500	9,030	2,470
9借入金収入	802,666	591,768	210,898
10、前受金収入	943,915	654,130	289,785
11、その他の収入	745,463	853,076	△ 107,613
12、資金収入調整勘定	△ 659,130	△ 719,376	60,246
13、前期末現金預金	96,309	15,000	81,309
収入の部合計	6,021,792	4,851,801	1,169,991

葬の雫

田舎から届けられたワラビを隣近所にも配って回った。"まあ珍しいものを"とお世辞にも喜んでくれたものの、三十才台の奥さま連「灰でアクを抜くのでございましょう。灰なら宅には全然ございませんもの……。どうしましょう。」と当惑顔▼灰といえば、三洋電機の井植祐郎会長が、長兄（故歳男氏）の後任社長に就任された時である。仕事でインタビュ[illegible]を終わって筆者が「お宅はうんとこさお金がおありだから、社会事業にもドンと寄付して下さいよ」ともちかけると、「とんでもない私など。うちはカマドの灰まで兄貴のもんですわ」と笑いとばされたのを思いだす▼ものの"たとえ"に、つい口から出た灰だろうが、都会の家庭に、カマドや、灰が残っているくらいなら、とても家電メーカーが今日のような大企業になってはいなかっただろう。そういって、また大笑いしたことだった▼意識や知識などというものは、時代遅れになっていても案外と気づかないでいるものらしい。ことがカマドの灰くらいなら、障（さわり）もあるまいが、制度が変わり、実情また異なってきていても、垢のついた旧時代の意識がそのままマカリ通っては、社会の進歩にブレーキをかけることにもなりかねまい▼こと自分のソロバンに結びつくとなると、企業家などは"革命的"ともいえる新技術や設備を無理算段しても導入し、近代化の先陣ぶりを誇ってきた。だが、政治や教育のことになると、当世TVの"紋次郎"型をきめこむか、民主主義という言葉だけは知っていても、ご当人の意識たるや"帝国"時代に培われたままという人士だってまだまだいる。▼先生は年とり過ぎたのでは？あなたの学説は時代遅れになったのでは、と大学に紛争の火がついてから今では紛争内容もすっかり変わり"革命狂"たちの狙う最なる拠点ビル化。連合赤軍の行動には、個人の尊厳も、自主性も喪失した青年像がうかがえた。この戦時中の軍隊内のと同じような意識を、戦後の"民主主義"教育の中で、どうして彼らが身につけたものか。（蕉）

最高のおくりもの カタノよい カタノこころぬ カタノくずれぬ カタノ洋服店
カタノ紳士服地
片野洋服店
大阪市東区北浜三丁目北浜駅西百米
電話大阪（231）〇五六五一七
大阪駅前店 第一生命ビル 専門大店
電話 大阪（341）〇七九二
上六近鉄百貨店紳士服サロン テーラーカタノ

プレゼントのお考えはきまりましたか
ビジネスバッグ・旅行カバン
サイフ・ハンドバッグ・カバン専門卸
GIFT 贈答好適
ご一報者にカタログ急送
K.K廣島屋本店
取締役社長 蔵田廣造
（昭和25年 経済学部卒）
〒541 大阪市東区博労町1—26
TEL 06—261—2431

配管材料 TRADE MARK EVEREST 総合問屋

指定問屋 東洋バルヴ株式会社
指定代理店 住友金属工業株式会社
株式会社北沢バルブ
特約販売店 日立金属株式会社
代理店 株式会社北斗バルブ製作所
株式会社イズミ製作所
株式会社吉田バルブ製作所
中嶋バルブ工業株式会社
株式会社田渕製作所
佐野鉄工株式会社
東亜樹脂工業株式会社
株式会社寺岡製作所
江守バルブ株式会社
取締役 江守和一（昭和41学1法）
本社・大阪市西区立売堀北通4丁目51番地
〒550 ☎大阪（06）（532）6321代表
出張所・新居浜・鹿島・大分・高岡・福岡・鹿児島

大きな実りを…
預金も/信託も/不動産も…
大和銀行

運転免許は校友がお世話する
"大阪城東の"
公安委員会指定
都島自動車教習所
大阪市城東区別所町157
〒536 TEL（06）912—7171
担当 太田清太郎（昭29.学2法）
優待証 関大
校友、在学生、又は校友紹介の方は左の優待証を切り取り持参下さい。授業料割引きの特典あり。

北から・南から　各地支部だより

今昔学生気質を語る　なごやかに尚志会総会

昭和四年大学部（法、経、商）卒業の尚志会（本業者一〇四名、現存者五四名）第26回同窓会は去る四月十五日、大阪北浜証券会館ホールで開催した。

参加者は水谷先生を初め、南浦青木（高知市から）田中、伊藤、葛原、平佐、金沢、馬渕、山口、加来、北原、山田の十三名であったが、年二回参集のことと久闊を辞し和気あいあい裡に開会した。

先ず山田幹事から五十名会員の消息。関東尚志会（会員中関東に在住する九名が別に懇談会をつくっているもの）からの積報告（五月八日）に参加の有無等につき報告、次いで水谷接一先生の懐旧談を交じえての懇談会食に入った。

懇談の概様次の通りである。

水谷先生＝一九二二年関大教授として赴任以来本年で五十年を経過したが、現在も講師として80才十2の年令で働いている。皆さんに教師として教えるものは無いが、人は死ぬまで何か仕事を持てることは大層幸福なことで、第二若返えりの秘訣である。

北原元成＝大正三年と昭和三年の二回。水谷先生を同長とし同席の山口辰雄君（現関大教授）を幹事として、我等十余名のサッカー部選手は、天津、北京、南京とビクトリア・カレッヂ、南燕大学、国民大学と歴戦した。当時日貨排斥で排日思想が盛んであった際、蔣介石政権の了解にこぎつけ、学生スポーツを以って日中親善に役立ち得たことを嬉しく思う。あの時今は亡き同期の寺田員、郎選手の初めてのトライを以って強敵南燕大学を打ち倒したことは思い出深いものである。

青木敏直＝小学校が大阪北区中大江校であった関係上、堂島川で水泳の練習をした昔が懐かしい。然し今はPCB公害で泳ぐところからかつに物も食えない国土となりつつあることは淋しい。

馬渕弘＝現在自分は京都山科に住んでいるので、大石内蔵之助の研究をしている。（註馬渕君は五十年前から映画の研究で有名なシナリオライター）大石が遊んだ祇園一力は当時未だ建築されていなかったので、彼の遊んだのは伏見撞木町であったろう。また大石は利財にたけた人で、付近の百姓町人に金を貸し利息をかせいだことが、当所の古い家に証文が残っているので知れる。

山口辰雄＝四十年間関大で教師をしてきた。先般大学入学式があり広瀬学長から「在学生中には一部乱暴者があるが彼等は気が狂っているので、それも極く僅かであるから、これを打ちとらず、それから逃げている方がよい」と新入生に訓話された。一部の学生はノーノーと叫んだ者もいた。しかしその前卒業式のとき、学長は、「今まで在学中はいくらか甘やかして来たが、諸君は今や社会人となられる。今後一枚の硝子を破っても弁償する責任のあることを銘記せよ」と卒業生に訓話された、と。

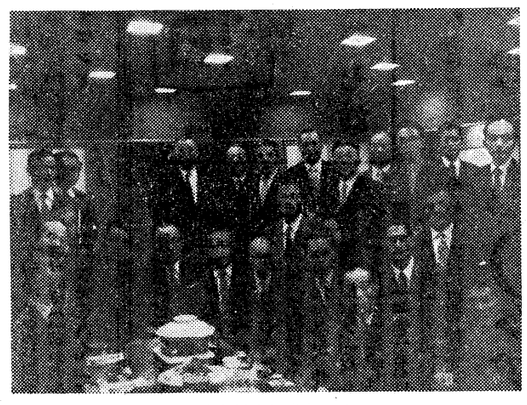
金沢佳郎＝昔は随分呑気だった。千里山に下宿し、付近にドイツ語の中村先生も止宿されていたが、いつも数名の学生は先生の下宿に遊びに行ったものだ。その時先生はよく、この方面は桃と亀の名所であるので、これを所望されたので、我々は手分けして桃や池の亀を見付けて持参したものであったが、先生は寄付に富んだお方であったが、その亀を料理して我々にも奨め、また自ら食された。そのお蔭でドイツ語はいつも満点だったのも面白い。

水谷先生＝ほんとに昔は呑気だった。ある時、第二外国語（仏、独語）の試験場に臨席してみると、右半分は仏語受験者、左半分が独語受験者の席であった。ところが仏語受験者の学生が、試験開始から相当時間が経過しているのに答案を一向に書かうとしない。そはは寄って注意を促すと、こんなむつかしい独乙語はさっぱり解らぬと沈黙考しているのです。ところがよくよくその学生を見ると、仏語受験者ではなく独乙語受験者であった。彼は席を間違って仏語の側に陣取っていたのであるそれにしてもドイツ語と仏語と区別も判らずに頓々考えこんでいたのであった。現在は立派な実業家になっているその人に逢うと、いつもその当時が面白くてならない。

平井笑水＝自分は大阪の大企業で永年勤務したが、同社の採用ではいつも残念ながら関大は同大、関学に比べをとる。それは語学の素養に欠点があるようだ。しかし就職してから後は、関学、同大の方は事務屋に優るが、関大の方はセールス方面に非常に優っているようだ。

水谷先生＝東洋レイヨンから求人申込みがあり、優秀な学生を送ったが、成念ながら不採用となったことがあった。山田松太郎先生と共に調べてもらったら他課目は優秀だったが英語が他より劣っていたことがわかった。思うに関大入学の際、新入生は英語が得意でないので、関大に行こうという学生が可成りあるように思える。関大生は東京で言へば慶大よりも早大の方に似ていて、気が利くというより、気が利かぬが正義責任感が強いというような教育の仕方でそんな学生が多いように思う。

南浦宗夫＝自分は学生時代、陸上競技部に在籍していたが、大島鉄吉君は常に「官学はさほどでもない。我々の努力によれば官学以上の人材も多く見られる」と常に語っていたが、関大精神はファイトに満ちた正義観、責任感の強い人の養成であってほしいと思う。いわゆる共産党的文化人の手になる大学の自治とか民主思想のはきちがいにより、ひいては極端な連合赤軍も出たのではなからうか。応報主義はもっと現代の世相に適用されてよいのでは無いか。


一八会総会に参加の人々

恩師河村教授招く　一八会四十七年度総会

昭和十八年学部卒業生の同期会"一八会"は、四十七年度総会を四月二十六日夕、大阪市南区宗右衛門町の割烹日本で開いた。

毎回恩師を一人招待する恒例で、この日は、昭和十八年当時経商学部長だった河村寛介氏を招いた。同教授は往年のエンタツ髪でそなくなっていたが、七十五才とも見えぬ元気さ。

たまたま会員笛村君が持参した昭和十八年、関大名簿＝関西大学々部戦国団名簿＝や、日本学生航空連盟・花形パイロットだった同君が、ひそかに飛行機から撮影した（みつかれば、憲兵隊に呼び出された時代だったが…）千里山のキャンパスや倉園風景など、往時を偲ぶ貴重な写真などに懐旧談がはずんだ。なお明年は卒業三十年に当たるので、生き残り全会員に呼びかけ、趣向をこらして盛大な総会を、との意見が強かった。

当日は、校友会から神屋敷事務局長も来賓に迎えたほか、出席者は左の二十六名であった。

以上の通り和やかな中にも現代世相の暴力、無秩序、無節操、目的のためには手段を選ばぬ点数主義等の好ましからざる状態を憂えての感想も飛び、等しくもっと良識が通る世の中でありたいものだの念願を吐露する意見が多く、議論はつきないものがあった。薄靄垂れてむ堂島河畔に灯がつく頃、いつもの通り学歌を大唱してまた来年も元気で逢いましようと散会した。　―文責　山田清太郎―

堺市役所関友会（伏見勇会長）では、四月八日、九日の両日にわたって定期総会兼旅行親睦会を伊勢志摩で開催した。

八日昼過ぎ、貸切バスで堺市役所前を出発、西名阪、名阪を経て津から穴川へ、穴川から船で渡鹿野の「朝潮ホテル」へ。ホテルで総会を開き、①会計報告並びに監査報告について、②役員改選を行った。

その間のことは、「佐渡亘・植村正久とその時代」（第四巻第22頁）によれば、

「弘化三年四月五日、英船一隻又来りて通商を求めたがこれを拒否した。ところが、その英船は無理に医師ベッテルハイム夫妻と子女各1名、中国人二名を残しておいて去った。止むを得ず、彼等を護国寺に預けて監視しめた」

と録されている。弘化三年は一八四六年である。しかし彼は琉球滞在中、聖書の飜訳に着手していたため、一八五五年には香港から片仮名文字の琉球ナマリで「路加伝福音書」「約翰伝福音書」「聖差言行録」（使徒行伝のこと）を出版した。その後シカゴ市で日本人留学生の援助を得て、従来の和訳に大訂正を施し、一八五八年には「路加伝福音書」の漢和対照版（本学図書館に写真複製本所蔵）を刊行した。

更にそれらの聖書の全文を平仮名に書き改め、一八七二年には「路加伝福音書」（本学に写真複製本所蔵）と「約翰伝福音書」とを、前述のごとくウィーンから出版した。

この「約翰伝福音書」が、このたび加えられた聖書である。

翌一八七四年には、改訂した「使徒行伝」（本学に写真複製本所蔵）発刊をつづけている。

最後に、彼の訳した新約聖書の一節を、現在の日本聖書協会訳と対照し現物を手にして、ベッテルハイムの刻苦の跡を回想すれば、

約翰伝福音書（ヨハネによる福音書）第三章十六節

「けだし　神　せけん　を　かのほど　あい　して　そのひとり　うまらす　のむすこ　を　すら　あたへて　おそれを　しんする　もの　ほろぼす　して　かぎり　なき　いのち　を　ゑむむが　ため」。

（原文変体仮名、写真参照）

「神はそのひとり子を賜わったほどに、このの世を愛して下さった。それは御子を信じる者がひとりも滅びないで、永遠の命を得るためである。」

この聖書を得たよろこびについては、たえず指導をいただいた見次図書館長、万里小路図書課長、そして、いつも励まして下さった主事司書林道子さんに感謝しつつ録した。

（校友昭13大法、関大キリスト教青年会理事、日本合成化工業嘱託）

沖縄ゆかりの―ベッテルハイム聖書

関大聖書コレクション

木下清

一九七二年沖縄日本復帰記念の年にあたって、本学図書館の聖書コレクションに、沖縄ゆかりのベッテルハイム訳「約翰伝福音書」一八七三年刊、65丁木板和装洋紙が入手できたことはよろこばしいのみならず、一段とこのコレクションを誇りたいものとしている。

それは、美しい朱色表紙のついた一七・四cmの聖書で、表紙には「東国宇院城阿度留布保流都方前版摺屋蔵活字」とあり、オーストリア、ウィーン城アドルフ・ホルツハウゼン印刷所蔵版であることを示している。

現在国内図書館では同志社、東京神学大、青山学院、内閣、聖書協会にのみ蔵する稀こう図書として知られる。

沖縄の那覇市波上の、ベッテルハイムが八年間起居した護国寺の址に琉球訳聖書記念碑が建てられているのを見ることができる。

B・J・BETTELHEIM

一八一一―一八七〇と刻んであり、それにつづいて

「伯徳令訳琉球語之聖書、約翰伝第四章第十四節……」と、同訳の聖句が掲げられていて、現在の口語訳聖書でいえば、

「イエスは答えて言われた、「しかし、わたしが与える水を飲む者は、いつまでも、かわくことがないばかりか、わたしが与える水は、その人のうちで泉となり、永遠の命に至る水が、わきあがるであろう」。」

なる。伯徳令とは、ベッテルハイムの漢字の「号」であった。

彼はハンガリー人であり、一八一一年、ユダヤ教徒の家に生まれた。そして長ずるに及び、悔い改めてクリスチャンとなった。しかし、自己の宗教をさるのには極めて熱心であるユダヤ教徒が故宗するというのは、並々ならぬ決心と勇気を必要としたことは想像に難くはない。彼は医学を修めて一八三六年にイタリアで医師となった。しかし「ひとりの人さいやすよりは万人をいやす道を選ぶため」、ロンドンに渡ってキリスト教神学を学び、帰化して英国人となり、敬虔な英国女性ローズと結婚した。

一八四六年英国福音ミッションから、平信徒伝道者として琉球に派遣されたが、禁教圧迫酷であったため、一八五四年、一旦やむを得ずアメリカに帰った。

号泣す"予科のパトス"

―上野勝也―

戦中戦後　関大出てから30年！　<3>

"予科のパトス"八鳥治一教授―いまは亡きパッチョ先生の講義を追善しよう。担任は英文法。学生課兼任のため出欠は厳格、一人の欠席者もなし。はじめは無味乾燥な授業、わずかに先生の訛のある発音が単調さを破るだけ。―ワワット（what）―。

「これは関係代名詞。関代（カンダイ）であります。関大生としては熟知すべきものです。この関代、いや、関大の書生さん気質は"意気"と"熱"でありまして、その意気は」

声も一段とハリを加えて名物"モノローグ"が展開され出す。

「諸君、阪神地区を襲った昭和九年の室戸台風を御存知か。風速60mを記録した。瓦礫の町への救援第一陣は関大予科生隊だった。勤労奉仕という言葉も生まれていない時代だ。大衆の苦しみを除こうという自発的な言動。これまさに"意気"であります。救援活動を終え、薄暮の阪神国道を校舎十里山にむけて分列行進する予科書生さん。わたしは感激しました」

ここで教授は英文法の本を閉じる。われわれはとっくに教科書は仕舞っている。

「昭和十三年。細川喜代見君＝現・細川事務所代表。モーレツ社長として今名高い＝ら十有余名の"理性"と"情念"の無気味なもつれに漂う激動期の学園―。勤労動員と学徒出陣がその表徴であろう。風雨の身が、あるときは冷静な英知で、ときには疾風枯葉をまく行動力で、とにかく生き抜けたのは、恩師のあの暖い言葉、優しい姿に無限の支えをえたためだろう―。

"熱"の一字に尽きるものであります。豊津の一農家に集合して、陸軍省に秘かに決意を提出したものであります。売名では断じてありません。憂国の至情であります。その孤高は新聞にもめませんでしたが、軍当局からは、学生は勉学に務めてほしい。気持だけは心から喜んで頂くと連絡してきたのであります。これらの諸君の至誠で生まれたのが校庭の忠魂碑であります。全国大学で唯一。反対も多くありましたが、英国のオックスフォード大にも忠魂碑があり、その銅版には第一次大戦の学徒の名が彫ってあるとし、学生の意志で募金もし完成されたもの。冷静な思察が生んだ真実の熱情といえないでしょうか。私は感激しております」。

血がたぎる"モノローグ"も、はや一時間半をこえる。終業のベルが鳴る。「授業を無視しては野戦の諸先輩に申し訳なかろう」と休憩十分間を返上しての超スピード・英文法講義となる。

後年。勤労動員の朝に、また軍隊内務班のビンタの風のなかで、先生の熱弁を思い出し、混乱破局前での先生の号泣。わが耳朶から経済を統制、統制と高度国防国家にむかう。ところでラジオ普組では吉川英治の宮本武蔵に原民は熱中する。その描くところのお通なる女性に、ひたむきなマインシャフトの世界を求めるためであろう」と喝破される。

憲法法学講師の佐々木惣一博士の"血書"従軍志願は、まさに"熱"の一字に尽きるものであります。豊津の一農家に集合して、陸軍省に秘かに決意を提出したものであります。売名では断じてありません。憂国の至情であります。その孤高は新聞にもめませんでしたが、軍当局からは、学生は勉学に務めてほしい。気持だけは心から喜んで頂くと連絡してきたのであります。これらの諸君の至誠で生まれたのが校庭の忠魂碑であります。全国大学で唯一。反対も多くありましたが、英国のオックスフォード大にも忠魂碑があり、その銅版には第一次大戦の学徒の名が彫ってあるとし、学生の意志で募金もし完成されたもの。冷静な思察が生んだ真実の熱情といえないでしょうか。私は感激しております」。

血がたぎる"モノローグ"も、はや一時間半をこえる。終業のベルが鳴る。「授業を無視しては野戦の諸先輩に申し訳なかろう」と休憩十分間を返上しての超スピード・英文法講義となる。

後年。勤労動員の朝に、また軍隊内務班のビンタの風のなかで、先生の熱弁を思い出し、混乱破局前での先生の号泣。わが耳朶から

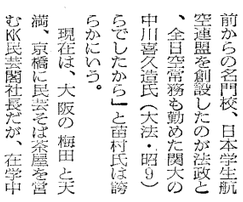
勤労動員で防空壕を掘る学生

世相を切る"大学ゼミ電車"

駅名が「大学前」＝全国で唯一のものだったが、現在は関大前になっている＝。加えて、車内では教授を囲んで臨時ゼミが開講され、千里山線は"大学電車"でもあった。朝、政治学・社会学の岩崎卯一教授が京都線から淡路駅につかれる。数人の学生が新聞の朝刊を手にして教授を囲む。ゲマインシャフト、ゲゼルシャフトの分析に乗って千里山線十五分間の世相ゼミだ。「一面の政治も二面の祖国を思案したかわからない、学徒出陣の前夜、お別れにと先生宅を訪れたとき、ただ、飲め、飲め、飲むべしとウイスキーを、涙を示しロボロ流しながらつがれ、別離の門前での先生の号泣。わが耳朶から受ける。それは型破りというか、教え子への愛情にもったものだった。「諸君らの、きょうの姿は学長として見るに忍びない」の一声にはじまった。気合を入れていた警防団長が ポカンとした表情で学長の顔をみる。かまわず、訥々としたなかに格調高き言葉が続く。

「世が世なれば、古今東西、万巻の書を前に、其の徐（しず）かなること林の如く、動かざること山の如くして、真理の探究に傾注すべき諸氏。その貴重な時間をこんな仕事で消耗するとは、学長として、かきれていう。誠に見るに忍びない。」

心の底から、沸上がる熱いものがほおを濡らさずにはおかない。秋の日は早い。シルエットになって去る学長の姿に学友それぞれの思いはめぐる。誰れの教練服のポケットにも岩波から出ていた「ドイツ戦没学生の手記」が秘められている。きょうこのごろだ。この夜のビールは ホロ苦かった。



帰らぬ空の仲間の塔を建てる　苗村七郎氏

今春の第二十一回全日本グライダー競技選手権大会で、一等は関大生相木君、五等に関大生が入った。昨年の大会でも小倉君が入賞している。「大学航空界で関大は戦前からの名門校、日本学生航空連盟を創設したのが法政と、全日空商務も勧めた関大の中川喜久造氏（大法・昭9）らでしたから」と苗村氏は誇らかにいう。

現在は、大阪の梅田と天満、京橋に民営そば茶屋を営む欧氏芸関社長だが、在学中は飛行機もグライダーもの"学生鳥人"でならしたもの、いまも関大航空部OB会で副会長を勤めている。

昭和十四年、第二予科入学と同時に航空部に入り「授業は、一年百八十日でしたが、飛行機の練習には二百日通った」そうだ。城東練兵場で飛行機の練習した人は、いまではそう多くあるまい、といえるのも自慢のひとつ。

第一次大戦に使われた複葉のアンリヨーやサルムソンから手がけて、二等飛行士と教官の免状をもらい、昭和十八年には陸軍の95式1型（通称赤トンボ）で日本一周、各地で航空知識普及講演会にも出てぶった。「兄の六郎が大高の水泳選手で、私は父ボーソのつもりで飛行機やグライダーを始めたのが、あの大東亜戦争でしよう、航空部も国防訓練部に変わってしまって……」とその頃を回想する。

特殊飛行一宙返りなどアクライダーでもやっての けた当時の学生鳥人のほうが、技術はいまの学生よりたかったと。この人は云うのだが、大学教練の査閲のおり、千里山の上空に航空部機で編隊組んで飛来、図書館上空から、ビッケして運動場の立木すれすれに低空飛行。配属将校の平尾大佐が、手を振って止めろと注意しているのを"激励"と判断して、再度アクロバット飛行をご披露し、後日、大佐から大目玉を喰らったこともあったそうだ。

陸軍では入隊六月目で少尉に任官、飛行第六六戦隊で、教官として跳飛弾攻撃の訓練を指導した。艦船に対し、抱えた爆弾を水面に跳飛させるようにぶっける攻撃法。だから、よほどの操縦技術が必要だ。この戦隊のほとんどの操縦者は、昭和二十年三月に沖縄海域の米艦に体当たり攻撃を試みて玉砕した。

苗村氏は、戦後も思い出の特攻基地を幾度か訪れた。鹿児島県加世田市の"万世基地"―そこは開拓村になりミカン畑が造られたが失敗だった。村の農夫が、玉砕将兵の慰霊を行なわれていないから、何を作ってもこは災メ、と話すのを聞いて、決心した。あの帰らぬ空の仲間たちのために、長年念じて来た慰霊塔を建てようと。現地の市当局に働きかけ、仲間にも呼びかけて、用地も購入した。

そして沖縄の本土復帰が実現するこの五月には、一万世陸軍特攻隊・航空戦隊戦没者慰霊塔」がそこに建つ。昭和十八年大終卒。趣味の民芸品あさりに欧州や東南アジアへ出かけているが、長男の元君（関大・工・在学中）も、昨年はフランス力遠征、ヘイズ山の登頂に成功して帰った。（譽）

大島特許事務所
所主　大島武夫
弁理士　大島一公
弁理士　藤本昇
大阪市西区江戸堀北通二丁目二十五番地（とみたビル）
電話（四四一）二一〇〇・二九四四三〇六一五〇

利息が元金を上回る
この有利さのヒミツはなにか
ふやすとあなた
利息もそのまま預けっぱなしでふやすから、しかも利息に利息がつく複利運用だからこんなに有利なのです。
＜ふやす信託＞なら、10万円も10年後には何と20万2,900円。
あなたの計画的な貯蓄プランにうってつけです。
ふやす信託とは
高利回りの《住友の貸付信託》の半年ごとの利息を据置いて自動的に複利殖する方法です。
住友の貸付信託
●1口1万円●元金保証で安全・高利回り
5年もの　年7分2厘7毛
2年もの　年6分4厘5毛（税引後）
●全国どこの郵便局からもお預けになれます
（送金料無料の当行専用振替用紙をご請求ください）
本店営業部
大阪市東区北浜5丁目（新住友ビル）電話06(203)1321(大代表)郵便番号541
ふやすでおなじみの　住友信託銀行

あなたの能力を充分に発揮できる職場
35年の伝統と
新しいアイデアで伸びる
印刷の東洋紙業
■採用関係の問い合せ先
〒556 大阪市浪速区芦原2－3
TEL 06－562－0051（代表）
本社総務部人事課内線36又は37

本社全景
会社概要
資本金 2億8,350万円
従業員 700名
事業内容
オフセット印刷
活版印刷・グラビア印刷・コンピューター用品
印刷
製本・製袋

各種硝子販売・工事請負
株式会社　大阪硝子店
代表取締役　佐々木廣
大阪市東区本町五丁目四
電話（二六一）三五三六―八番

関大博物館構想

(14)

大学博物館とその利用について

文学部教授　横田健一

これまで二三回にわたって、本学の教授・講師あるいは卒業生の方がたから、本学に博物館を設置してほしいとの要望や、設置したばあいのあり方、博物館の教育や研究上の重要性について論ぜられてきた。この上、いまさら私のつけ加えるべきことは、あまりないが、私の体験、見学してきた大学博物館と、その利用についてしるし、結論としたい。

■京都大学陳列館

私がはじめて接した大学博物館は京大の陳列館である。すでに旧制高校時代に見学にゆき、新羅慶料金冠塚出土の金冠の模型や古墳出土の甲冑の模型などをみて、いたく興味をそそられた。この甲冑の復原模型が本学名誉教授末永雅雄博士のつくられたものであることは、のちに末永博士が本学へ来任されてのち、はじめて知った。

大学入学後この陳列館で私は考古学の実習をうけた。陳列棚からめいめい土器や石器、瓦などをもち出して、ものさしやキャリパスで測定しながら方眼紙に製図をしたり、破片を接着剤でついだり、土器の文様や瓦の文様を拓本にとったりするのである。陳列室の傍には、こうした実習室がぜひ必要なのである。それとともに拓本をとっている土器や瓦の文様を比較研究するために、陳列室の隣りは、図書室をそなえ、多くの研究文献や、定期刊行の学術雑誌類、発掘報告書類も常設されねばならない。ということは、陳列室と研究室とは一体のものなのであり、のちにのべる欧米諸大学の博物館もみな同様である。

京大の考古学陳列室は一階にあり、二階には国史関係の陳列室があった。私が二年生の時、西田直二郎教授の特殊講義のある日に、陳列室へつれてゆかれ、学生各自に一点ずつ絵画や物や文書がわりあてられ、レポートを書かされたことがある。私には福泉閣鳳（一三九一―一四七三）という室町時代中期の禅僧の彩色した頂相（ちんそう）＝禅僧の肖像画のこと＝がわりあてられた。一枚の絵をみて何か理屈をのべてレポートを何枚か書かねばならないので、大いに閉口した。それでわが国の肖像画の歴史をしらべたり周鳳のことをしらべたりして、わが肖像画史上における頂相のもつ美術精神史上の意義というようなことをデッチあげて提出した記憶がある。

その時は大学の陳列館にはこんなものがあるのかくらいにしか、感じなかったが、今にして思えばなかなか小品とはいえ、よい作品を所蔵しているものと感じる。

大学博物館の所蔵品は、このように学生に見せ、調べさせ、レポートを書かせ、考えさせるとき、学問として生きてくるといえよう。

■オックスフォード大博物館

一九六三年四月に私は本学の在外研究員としてオックスフォード大学社会人類学研究所に赴いた。この大学には附属博物館が三つあり、一つは動植物や地質鉱物などの標本を陳列した自然科学博物館で理学部の利用するものであるが、私などの関係が深いものとしては、美術史および考古学関係のアシュモレアン・ミューゼアムと民族学・社会人類学関係のピット・リーヴァーズ・ミューゼアムである。

一七世紀以来三百年の歴史をほこるアシュモレアンは、ケンブリッジ大学のフィッツ・ウィリアム・ミューゼアムとともに、大学附属美術館としては、その所蔵品の素晴的な価値の高さ、優品のそろっている点で、世界最高のものであろう。フィッツウイリアムはヨーロッパ近代美術史において、アシュモレアンにまさっているが、アシュモレアンは中国や日本の優秀品をはじめ、エジプト・ギリシヤやヨーロッパの古代、中世などヴァライエティにおいてまさっていた。一七世紀以来三百年の歴史をほこるアシュモレアンは、ケンブリッジ大学のフィッツ・ウィリアム・ミューゼアムとともに、大学附属美術館としては、その所蔵品の素晴的な価値の高さ、優品のそろっている点で、世界最高のものであろう。フィッツウイリアムはヨーロッパ近代美術史において、アシュモレアンにまさっているが、アシュモレアンは中国や日本の優秀品をはじめ、エジプト・ギリシヤやヨーロッパの古代、中世などヴァライエティにおいてまさっている。

オクスフォード大学の研究所の掲示場や博物館の掲示場などに、何曜日の何時間には、何時代の美術史の実習を行なうとか、だれそれ講師の考古学はどの博物館のどの室で行なうとかいった掲示がいろいろ出ている。

ピット・リーヴァーズというのは退役軍人で、退役後、民族学を研究して、莫大な土俗品を蒐集した。この博物館は大ホールを中心に周囲をぐるっと陳列ケースで埋め、三階までギッシリと世界中のものがあつめてある。当然、私の関係した社会人類学研究所関係の実習はここで行なわれるわけである。場所も研究所から二百メートルくらいのところに設けられていた。

■パリ大学人類学図書館

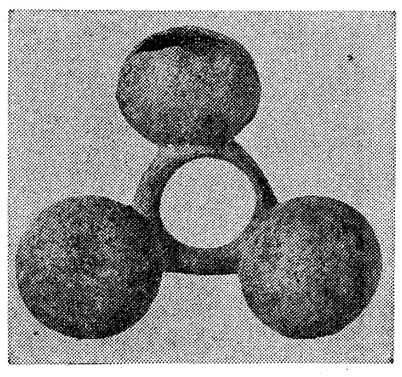
六三年の秋から私はパリにゆきコレージュ・ド・フランスの教授で構造主義人類学の大家クロード・レヴィ・シュトロース教授の講義とセミナーに参加した。教授の研究室はイエナ街にあり、そのすぐ数棟隣りがギメー東洋美術館、その向いに近代美術館があり、その西約五〇〇メートルにトロカデロ広場があって、南側に半円をえがいてシャイヨー宮がある。シャイヨー宮の西半分の一階が海洋博物館、二・三階が人類学博物館（ミュゼ・ド・ロンム）四階がパリ大学の人類学図書館になっている。またシャイヨー宮の東半分がフランスの記念碑と民衆美術館といっても、中世美術が主であるが人類学博物館がある。もとレヴィ・シストロースの研究室は、その地下にあったらしい。このように、パリ大学の人類学関係の研究と実習はトロカデロ一帯に集中し、ここで勉強が行なわれる。私も人類学博物館に十回、ギメー東洋美術館に六回行ったのをはじめ、レヴィ・シュトロースの研究所を利用させてもらっていた。

■ロウイ人類学博物館

それに配するに腹黒い権謀術数にたけた宰相李林甫、これと張りあう楊貴妃のいとこ楊国忠、玄宗お気にいりの官官高力士、安禄山と戦かう将軍封常清、哥舒翰、高仙之、それに父安禄山を殺して位をうばう息子安慶緒、さらにそれを殺して反乱をする史思明、忠臣義士の顔真卿、李光弼や張巡という様な将軍たち、唐帝室や反乱軍をそれぞれ切ったり、対立して戦うチベット、キタイ、ウイグル、サラセンなどの外国軍、こうしたものが入り乱れて、あるいはなまめかしい脂粉の香にみちた考文献も簡明にではあるが、それぞれの問題の個所と巻末にしるされていて、著者がどの説によっているかをあきらかにする。こうした配慮によって、本書は学術的にも高い価値をもっている。また著者が唐代研究者として、第一線で活躍している力量をも、よくしめしている。著者はすでに数年前、人物往来社から「安禄山」を刊行して、好評を博したが、いままた新たな観点から、開元天宝時代、とくに安史の乱をながめ直して描いた

この好著を、きわやかな寒風の吹き入る明窓のかたわら、浄机の上にそなえて、初夏の一夜をたのしまれんことを（K・Y）

考古学入門 (25)



環鈴

中央の円形の環によって3方の鈴を連結したもので、環鈴または三環鈴ともいう。青銅製の遺物で古墳の副葬品として出土する。その用途については明確でないが、大阪府南天平塚古墳では遺体の腰の付近から、また奈良県新沢千塚では桂甲の側で出土した例がある。　出土地不詳。

（関西大学考古学資料より）

書斎の窓

シティに迫る新しい波

―ロンドンの金融・為替市場

木村滋

▼シティ　ロンドンのシティと呼ばれる地区は東はオールドゲイト街、西はチャリング・レインとダイヤモンドの街ハットンガーデン、北はリヴァプール・ストリート駅、南はテームズ川によって画された二平方粁の地域を指し、その中で金属取引所、バルチック取引所（海運市場）、穀物取引所、ゴム、茶、羊毛、ダイヤモンドなどの各種商品市場に取り囲まれ、一辺約四分の一粁の正方形がシティの金融地区で、「スレッドニードル街の若婦人」イングランド銀行を中心に、五大銀行の本店、スコットランド系銀行、英連邦系銀行および外国銀行のロンドン支店、マーチャント・バンク割引商会、株式取引所、株式ブローカー、保険会社などが密集し、イギリスのみならず世界の一大金融市場を構成し、ニューヨークのウォール街と鎬を争っている。さすがは伝統の国イギリス、いまだに黒い服に山高帽のスタイルの割引業者や証券ブローカーといわれる手形仲買人がいる。割引業者は商業手形の割引と大蔵省証券の入札を行なう。何が伝統的なロンドンの短期金融市場かというと、割引商会は銀行から資金を翌日物とか一週間物といったコール・ローンの形で借り入れる。イングランド銀行からの借手は銀行ではなく割引業者である。右のコール・ローンの返済資金の最終的出金利一％高、コール・レート約一％安、銀行預金金利二％安といった体系をもつので、公定歩合政策が自動的に市場金利に反映され、政策効果を能率的としている。

▼大金持の代名詞マーチャント・バンカー　ロスチャイルドなどマーチャント・バンカーはもとは富裕な貿易商であったが貿易手形引受を専門とする引受商社となったもので、三国間貿易において、ポンド手形がマーチャント・バンクによって引き受けられ、割引業者によって割り引かれるという方法の貿易金融がロンドン・アクセプタンスとし大いに利用され、今日の国際金融の中心地ロンドンをつくりあげたのである。マーチャント・バンクは預金銀行とほぼ同様の銀行業務を営み、その伸縮自在な国際性を駆使して外国為替取引、ユーロ・ダラー取引、ユーロ・ポンド取引、金取引において先駆的指導的役割を果しているのである。

▼新しい波＝並行市場　一九六〇年代初め頃から右述の伝統的市場と異なり、金利が需給によって決まる新しい市場、並行市場（パラレル・マネー・マーケット）が出現した。すなわち地方公共団体市場、賦払金融会社市場、インター・バンク市場（譲渡可能預金証書）は無担保・持参人払式で譲渡性があり、期限前でも並行市場で売買され、インター・カンパニー市場、ポンドおよびドルCD市場、それに後述のユーロ・ダラー市場である。これらはいずれも外為ブローカーや証券ブローカーによって仲介され、伝統的短期金融が公定歩合に連動するのに対し、この市場では金利は需給によって決定される。

▼ユーロ・マーケット　ユーロ・ダラーは一九六〇年代初めより出現し、今日その規模は四〇〇億ドルに達する。ユーロ・ダラーとは米国以外の銀行によって取得され、直接ドルで、または他通貨に転換後、最終の借手に貸し付けられる米国の銀行預金であり、それは無担保信用取引の形で取引される。他方、ユーロ・ポンドは国際シンジケートによって引き受けられ、あるいは国際的に置かれたドル預金であり、それは無担保信用取引の形で取引される。インター・バンク市場は手形交換銀行以外の一五〇以上の銀行で形成され、流動性ポジション調整のために行なわれる無担保預金市場であり、ユーロ・ダラーを含む海外短資がポンドに転換され、この市場で運用されることが多い。インター・カンパニー市場は企業間の余裕資金の預金の形での貸借であり、一九六三年の米国の利子平衡税を契機としてユーロッパ諸国がそれまでの米国の資本市場依存から国際シンジケートを結成して多数の国から資金調達を国際的規模で行なおうとしたのがその最初である。外債の発行、すなわち一国の国内市場における当該通貨建の古典的発行とは異なる。その種類に転換社債と普通社債および中期（五年位）のユーロ・ノートなどがあり、米ドル建が圧倒的に多く、ドイツ・マルク建、オランダ・ギルダー建がこれに続き、一九七〇年の発行額合計二千七億ドルであるが、ユーロ・ダラーとは米国以外の銀行によって取得され、直接ドルで、または他通貨に転換後、最終の借手に貸し付けられる米国の銀行預金であり、それは無担保信用取引の形で取引される。他方、ユーロ・ポンドは国際シンジケートによって引き受けられ、あるいは国際的に置かれたドル預金であり、それは無担保信用取引の形で取引される。インター・バンク市場は手形交換銀行以外の一五〇以上の銀行で形成され、流動性ポジション調整のために行なわれる無担保預金市場であり、ユーロ・ダラーを含む海外短資がポンドに転換され、この市場で運用されることが多い。インター・カンパニー市場は企業間の余裕資金の預金の形での貸借であり、一九六三年の米国の利子平衡税を契機としてユーロッパ諸国がそれまでの米国の資本市場依存から大部分の取引は英米式の場外取引で行なわれている。ロンドンでも一九二〇年までは為替取引が出来た。現在のロンドン市場の構成員は五大銀行、海外銀行と外国銀行のロンドン支店、マーチャント・バンクなど二五〇余りの公認ブローカー、平衡操作を行なうイングランド銀行である。銀行間取引はブローカーを通じて行なわれる。市場は月曜日から金曜日まで、ほぼ午前九時半から午後四時頃まで開かれ、ディーリング・ルームには普通電話、テレックス、ブローカーと直結する五〇本ほどの専用電話のボックスがある。ディーラーはブローカーからの建値の申出を待機するか自分で建値を申し出る。銀行は建値を申し出て、直ちに受諾された以上はそれによって取引しなければならない。直ちにとは、数秒から一分以内で、取引最低金額は一〇万ドルか二五万ドルであり、その倍数金額で取引される。為替相場は中心相場一ドル当たり二・六〇五七ドルの上下各二・五％すなわち二・六四二ドルと二・五四七ドルの範囲内でイングランド銀行の介入があり、したがって市場相場はこの範囲で変動する。対顧客相場は市場相場を基準として一定のルールの下に建てられている。

外国為替市場においては、一方で大部分のディーラーの間には友愛と騎士道精神が存在し、規則があり、どうしてこの程度の彼らはたとえ一度も会ったことのない者同志でもクリスチャン・ネームで呼び合い、他方では適者生存のための絶えざる競争が存在する。ロンドン外国為替市場はこうした全く相反する性格が共存する不思議な市場である。

▼ロンドン外国為替市場　外国為替市場には為替取引所という建物内でブローカーやディーラー（為替専門職）が集まり値決めをする大陸式と、ブローカーと銀行のディーリング・ルームをつなぐ電話のみで取引される英米式がある。スイスを除く大陸の諸国における為替取引所の値決めも対顧客相場の基準となる公表相場を決める程度で、大部分の取引は英米式の場外取引である。

▼国際金融・外国為替の入門書　ビジネスマンや学生向の国際金融・外国為替の格好の入門書として有斐閣選書「国際金融教室」（六月刊行）をお勧めしたい。同書は安東盛人（東京銀行取締役）、土屋六郎（中央大教授）両氏の編集になるもので、第一章国際収支、第二章外国為替と貿易金融、第三章国際金融資本市場、第四章国際通貨制度、第五章国際通貨不安、第六章改革と展望よりなり、筆者は第二章と第三章を執筆したが、本書は最も斬新な資料に基づき、現下の焦眉の国際金融・外国為替の諸問題を平易に解説した体系的な入門書であるのにしかも、博士の根本的な哲学的立場が第一論文の題目にあるように「出会い（Encounter）の哲学」であることは興味ぶかい。博士の師、西田幾多郎博士は「我と汝」の対立、ノエシスとノエマを非常に問題とされたが、「出会い」は我と汝とが出あうところに生ずる人間関係に倫理の原初的な契機をみるのみでなく、そこには仏教でいう「一期一念（いちごいちえ）」のように、眼にみえぬ不思議な因縁、さらにいえば恩寵のような宗教的超越的なものを問題として提起している。全体として、本書にみえるすべての論文に、そうした宗教への志向がつらぬかれている。うべなるかな博士はクリスチャンであってしかも愛洗以前の台北時より弁証法神学等に関心ふかく、F・ゴーガルテン、E・ブルンナー、K・ハイムなどを演習につかわれていた。最近ではとくにマルチン・ブーバーやJ・カルルベイなどに傾倒しておられるようである。しかも博士はキリスト教のみならず仏教にも関心も造詣もふかく、またむろん実存主義哲学や古典哲学にも、ひろく通じておられる。

簡単な紹介で意をつくさぬうらみがあるが、校友諸氏が、本書を求め、味読されることをのぞむものである。問い合わせは本学出版・広報課へどうぞ。（孤鬼閣）

新刊紹介

安禄山と楊貴妃
―安史の乱前後―

藤善真澄著

（清水書院刊、人と歴史シリーズ・東洋8・定価四三〇円）

一口にいっておもしろい本である。舞台は八世紀の中国、豪華絢爛たる文化の花がさいた盛唐、開元天宝時代である。主役は一代の栄華をほしいままにした玄宗皇帝の寵愛する絶世の美人、楊貴妃と玄宗の愛顧をうけた中央アジア、ソグド系ともトルコ系ともいわれる魁偉にして豪智にたけた将軍安禄山である。その魁偉ぶりは体重三百斤（一八〇キロ）で、大きな腹は膝までたれるほどだったという。

それに配するに腹黒い権謀術数にたけた宰相李林甫、これと張りあう楊貴妃のいとこ楊国忠、玄宗お気にいりの官官高力士、安禄山と戦かう将軍封常清、哥舒翰、高仙之、それに父安禄山を殺して位をうばう息子安慶緒、さらにそれを殺して反乱をする史思明、忠臣義士の顔真卿、李光弼や張巡という様な将軍たち、唐帝室や反乱軍をそれぞれ切ったり、対立して戦うチベット、キタイ、ウイグル、サラセンなどの外国軍、こうしたものが入り乱れて、あるいはなまめかしい脂粉の香にみちた考文献も簡明にではあるが、それぞれの問題の個所と巻末にしるされていて、著者がどの説によっているかをあきらかにする。こうした配慮によって、本書は学術的にも高い価値をもっている。また著者が唐代研究者として、第一線で活躍している力量をも、よくしめしている。著者はすでに数年前、人物往来社から「安禄山」を刊行して、好評を博したが、いままた新たな観点から、開元天宝時代、とくに安史の乱をながめ直して描いた

しかし著者の学問的な配慮は、そうした点以上に、当時代の政治的、社会的、経済的な背景や状態を常に忘れていない。主役たちの活動は、そうした背景の描写によって、一層明らかになる。また参考文献も簡明にではあるが、それぞれの問題の個所と巻末にしるされていて、著者がどの説によっているかをあきらかにする。こうした配慮によって、本書は学術的にも高い価値をもっている。また著者が唐代研究者として、第一線で活躍している力量をも、よくしめしている。著者はすでに数年前、人物往来社から「安禄山」を刊行して、好評を博したが、いままた新たな観点から、開元天宝時代、とくに安史の乱をながめ直して描いた

しかも、博士の根本的な哲学的立場が第一論文の題目にあるように「出会い（Encounter）の哲学」であることは興味ぶかい。博士の師、西田幾多郎博士は「我と汝」の対立、ノエシスとノエマを非常に問題とされたが、「出会い」は我と汝とが出あうところに生ずる人間関係に倫理の原初的な契機をみるのみでなく、そこには仏教でいう「一期一念（いちごいちえ）」のように、眼にみえぬ不思議な因縁、さらにいえば恩寵のような宗教的超越的なものを問題として提起している。全体として、本書にみえるすべての論文に、そうした宗教への志向がつらぬかれている。うべなるかな博士はクリスチャンであってしかも愛洗以前の台北時より弁証法神学等に関心ふかく、F・ゴーガルテン、E・ブルンナー、K・ハイムなどを演習につかわれていた。最近ではとくにマルチン・ブーバーやJ・カルルベイなどに傾倒しておられるようである。しかも博士はキリスト教のみならず仏教にも関心も造詣もふかく、またむろん実存主義哲学や古典哲学にも、ひろく通じておられる。

簡単な紹介で意をつくさぬうらみがあるが、校友諸氏が、本書を求め、味読されることをのぞむものである。問い合わせは本学出版・広報課へどうぞ。（孤鬼閣）

田中熙著――社会哲学から政治哲学へ

（関西大学出版・広報部刊、定価一、二〇〇円）

田中熙博士は昨年三月定年退職され、名誉教授の称号を本学より授与された。本書は博士の古稀記念祝賀として知友の賛助により編まれたもので、博士の既往の論文一四篇をおさめている。

博士は少年時代より秀才のほまれ高く、信州の上田中学四年終了で旧制八高にすすみ、京大哲学科において西田幾多郎博士についた学ばれた。西哲叢書の一冊に書かれた「マックス・シェーラー」は力作の評高く、その実力をみとめられて旧制台北学校に招かれ、さらに台北帝大に招かれて終戦まで岡野留次郎教授（本学名誉教授、元学長）の下に助教授として勤め、戦後岡野教授ともども本学に招聘されて来任された。

大学では主として倫理学を担当せられたように、本書におさめる論文も倫理学関係の論文が多い。しかし博士の倫理学は単なる道徳の説教や分析におわるものではなく、本書の標題が示すように、倫理の背景にある人間関係、社会関係の基礎的、総合的な哲学的考察が常に考えられている。それのみではない。標題が「政治哲学へ」といっているように倫理学の最も実践的な活動場面である政治の哲学的基礎づけが思念されている。

特許・商標・出願全般・審判事件
〔日・英・米・独・仏・伊・スイス・ベルギー〕〔中近東・東南アジア諸国・韓国等取扱〕
鈴木国際特許事務所
所長・弁理士　鈴木武夫（昭和五年　大法卒）
大阪市西区四長堀南通一丁目九番地（四ツ橋交叉点南50m東側）藤村ビル二階
（地下鉄四ツ橋線四ツ橋駅中央出口隣）
電話　大阪（六）〇六（五三二）七四三一～七四三七四三五（所長室）

再び飛騨川に挑む
―春季ボート合宿

―福島博徳・吉田武郎―

春季ボート合宿は再度飛騨川に挑戦した。われわれは夏に失敗しみじめた思いで帰阪し、今度こそはとこの半年間トレーニングを重ねてきた。

三月二十五日八時五十三分焼石に向け下呂を出発。前日来の雨で水量は増え川幅いっぱいに濁流となって流れている。夏に劣らぬ流れでゴムボートの限界ギリギリのところだ。ボートは木の葉の様に流され、ただ波に対してボートを直角にすること、それだけに全神経を集中させる。二人が落ち、うずにまき込まれたが無事ボートにしがみつく。焼石まで三時間半、すごいスピードだった。

二十六日雨で停滞。

二十七日快晴。最大の難関飛水峡への挑戦だ。飛水峡は両側が絶壁で川幅は平均五・六尋しかなく、一度入ってしまえば最後までボートは止められない。転覆すればそのまま流されてしまう。いくら分水量は減っていたが川は荒れた。波の高さは黒部にも負けない。こんな波を見たのは初めてで足のふるえが止まらない。

いよいよ突入。決死の覚悟とはこういう時に使う言葉なのか、想像を絶する波である。波をまともにくらうと顔をいやというほどなぐられた感じで目も開けていられない。前の一人が落ちた。思わず手をさし出す。悲愴な顔をしてボートにしがみつく。瀬の連続で、必死になって水をかい出すが、何の役にも立たない。ボートの操作して雨もあがる時があると見えて午前五時～七時位までは晴間も出る。この時間を縫ってバカルートから最高峰ローズピークの登頂を終え、附近の他のピークを試登したり、ローズガリーの暗黒の谷をのぞいたりしているうちに、降り出したので一目散に小屋に戻り一体どうしたものかと思案した。

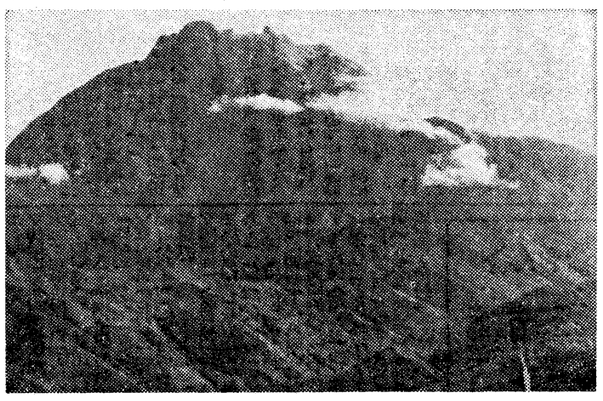
何せキナバル峰は岩壁がすばらしい。このことは今までの山岳雑誌の報告などでわかっていたので、我々はこの岩登りを主目的に来たのであるが彼女は我々の気持に反して笑顔を見せない。岩登りの場合はほぼ一日中あるいはそれ以上の天候の安定が必要である。この山は崩れっ放しでいいことがない。「こんな重たい登攀用具をなんでヤッサモッサして持って来たのやら」とブツブツいいながら二日、三日と待っていても一向に良くならぬ。一方悪いことに急激に高山に登ったために高山病の様相を呈し、二人共二日酔の様な状態で頭がガンガンする。それがデリケートな男心に影響を及ぼし意見の対立もしばしば……。ついに岩登りは不可能と判断しガックリして雨にぬれながら下山した。

その後近くのカンポン（村）をうろつくことしばし二人は現地で「さいなら」してその後シンガポール、サイゴンに立寄り一月十六日帰国した。

何か山登りと観光とをミックスした変てこな旅であったが、要するにボルネオといってもかなり俗化が激しい。親切なレインジャー（管理人）や人なつっこいポーターなどは五年も十年もの前位の話しじゃないか？レインジャーは日本の友人にもらったカメラや名刺を見せ、あげくの果ては日本人は彼等を日本に招待までしている。話しをよく聞けばお前は俺に何もする気配がないがどうかというようなうわべのベタベタしたなつこさが気にさわる。ポーターは規定料金でもブーブーいい、ガムや食いものをやってもテレマカン（ありがとう）とはめったに言わない。まるで日本の山みたいで不愉快だ。

ブーブー書いたが、要するに文明というものの観念がボルネオでも外国人のよく訪れるところでは急速に浸透し、物による価値判断が中心となり中国の近くの小島から来た日本人というみさかいなく調子の良い人間はおせじに弱く、バカのようなところがあり、何とかうまくやってやろうなんて考えているのじゃないだろうか。日本の場合でも我々と何ら利害関係の生じない「ゆきずりの人」は心から好感が持てるように、彼等もそうであった。

ボルネオの自然は美しい。それは日本とは違って本当のみずみずしい緑を基調とした目の醒めるようなすきとおったジビアなものだ。この世界を大切にするためには、この自然の中に住んでいる人々の心を文明という名のガメツイものにしてはならないと思った。



キナバル峰（標高4,100m）の遥望

キナバル峰の旅
―滝のような雨に阻まる

田中熙著

マレーシア国ボルネオ島の北部に位置するキナバル山（四、一〇〇㍍）に三月休みを利用して出かけようかとの計画を立て、ボルネオ、サバ州の首都、コタキナバルに着いたのが昨年の十二月十六日のことであった。旧日本軍がラナウ海空隊のために作ったといわれる屋根ばかりの道をジープでゆられ登山口に到着。

ボルネオの名を聞いた時に第一に浮かんだイメージが、ジャングルに、マラリヤに、裸のオッチャンやネエチャンであり、どれ程来開かと思っていたが「ナンテコトナーイ」立派なレストハウスがバッチリ建っているではないか。「ジョウダンじゃない」と我が目を疑って見上げるキナバル峰のはるかむこうに、何とテレビの送信塔が建設されていた。これでは穂高を見上げる上高地ではないかとあきれたりおどろいたり。

さて山そのものであるが、何の何のメチャメチャのスケールをもった岩の塊りであり、なぜこのような山が出来たかは定かではない。火山でないことは確かである。水成岩というからなお不思議である。

登山を始めるについてむつかしいことには、現地では現住民に仕事を与えるためにガイドとポスターを雇わなければならないという規則があり、どうしてこの程度の山にガイドやポスターを雇わねばならないかわからないが、強いて抵抗はせずに喜んで従うことにして、荷物を彼等にかなり持たせベースまで登山開始。

二日の行程でサヤサヤ小屋という八合目位の頂上台地に近いベースに到着する。ここでガイドとポーターを帰し、男二人だけの変な生活を始めた。頂上に近づいて見て、ぬけるように青いカリフォルニアの空をながめながら久闊を叙して語りあい、関大にもこうした博物館がほしいと感じたのも、ついこの間のように思う。願わくば本学に一日も早くよき博物館が建設されんことを。（完）

戸隠高原から燕温泉へ
―春季山合宿

山岳班

今回の我々の春山合宿は、戸隠高原において岩稜の登はんを行ない、その後スキーにより黒姫山を越え笹ヶ峰牧場に向かい、ここで関大W・V部のデポ食糧の一部を使わせていただき妙高山を越え燕温泉へ抜けるといった計画を立てた。山の道具を全て使うという風な、かなり欲ばった計画であり、行動記録としては、前半の戸隠では天候が悪く一本の登はんに終り後半はまあまあ天候に恵まれ予定通り燕温泉に抜けることができた。

戸隠においては、例年に比べ雪が少なく戸隠の壁も、雪が落ち五月の山という感じで岩稜（戸隠八方睨屏根）の登はんも、ザイルも使わずあっけなく終了してしまった。

後半はスキーにはきかえ、曇空の平隠をあとに黒姫山に向った。夏道沿いにスキーを滑らせ進む。この日は黒姫山へのコルにソエルトを張り本日の行動を終える。つぎの日は雪で沈殿、そのつぎの日二十七日に朝はやくから黒姫山を登り、その足で笹ヶ峰牧場へ向って滑り出す。途中ルートファインディングのミスから時間を食ったが五時頃牧場に着く。ここで関大W・V部のデポ食糧を一部使わせていただき明日よりの妙高山越えにそなえた。

妙高山から燕温泉へは途中、外輪山内の大正池にて一泊し、つぎの日、妙高山を登り、その日の内に大倉谷を燕温泉へ必死に滑りまくる。笹ヶ峰よりは天候にめぐまれ besoin もやけ増々黒くなる。燕温泉には、沢の横断で時間を食い五時に到着。いそいで燕の湯につかり合宿の疲れをとる。翌日の中は雨燕温泉より赤倉のスキー場に飛びだし、いっきに滑り下りた。

コンパ・パーティなら
梅田観光チェーン
●料亭　夏雲梅
●バイキング　マンダリンホール
●中国料理　武花園
ご予算とご計画に合せたお好みのパーティを
梅田花月西隣梅田観光ビル 313―2991

総合電機設備・自家発電・排煙設備
栄興電機工業株式会社
代表取締役　小坂光則（昭28商卒）
代表取締役　三木憲三（昭28法卒）
本　社　尼崎市下食満南台233―17
電話（06）491―5301代表
関連企業
コンベアー搬送機・各種工業窯炉
栄興設備工業株式会社
自動制御盤
株式会社　エイコーパネル

Construction Fastening Consultant.
〈営業品目〉
ホークアンカー・ナイロンアンカー・パイルカッター・レジンアンカー・ブラックアンドテッカー電動ハンマー・建設用鋲打工具・ラムセット及び付属品・その他建設用電設用機械工具の販売・工事
建設ファスナー株式会社
代表取締役　高田俊治
本　社
大阪市北区老松町1―5
電話（06）―363―4126（代）
支店・営業所
東京(03)433―5611　名古屋(052)262―5411代　岡山(0862)72―4612
札幌(011)521―2592代　京都(075)312―4947　北九州(093)58―4857代
横浜(045)641―2371代　大阪(06)363―4126代
静岡(0542)82―0151代　神戸(078)671―3331代

今……街の話題です
大きな気品
すばらしいスタイルと性能の
ニューマークII
シャープなスタイル
スキッとクールに
きまる手ごたえは
ニューコロナ
NEW MARK II
NEW CORONA
大阪トヨタ自動車
本社　〒550 大阪市西区立売堀上通1-3　電話06(541)1141大代表

能率にスチール棚
重役室から工具室まで
とにかく棚のすべてがあります
書架・物品棚・商品棚・可動間仕切
本邦最大のスチール棚専門メーカー
日本ファイリング
本　社・東京都千代田区神田駿河台一の六
（主婦の友ビル六階）
電話（294）1751（大代表）
営業所・大阪、名古屋、福岡、札幌
特約店・全国各地

ずいひつ　短歌と俳句

花の京

清水寺・円山公園・平安神宮

木山源一

京は桜の名所が多く、清水寺、円山公園、平安神宮、風山、嵯峨野、醍醐など、花だよりにその地名はあまりにも有名。花見弁当に酒少々を持しての花見行、清水坂の途中までで車はストップ。暖やかな土産物店を覗き見しながら、坂道をのぼる。

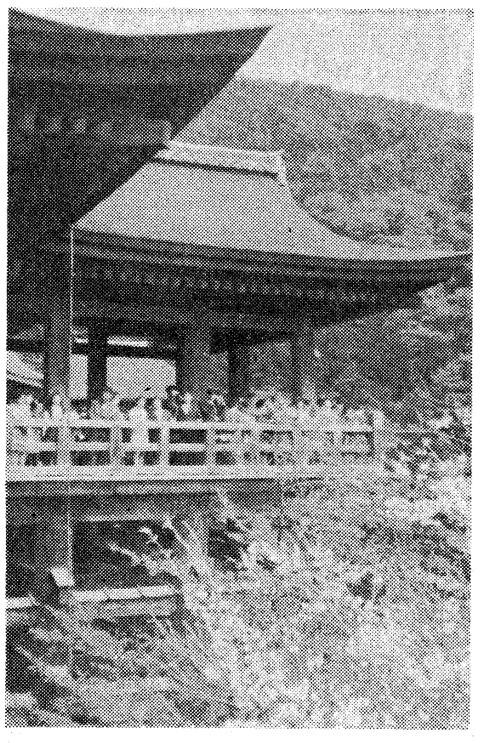
（俳句）
ハイヤーの　行きとまりたる　花の坂
西陣の　土産の暖子　花の坂
（俳壇掲載）

花の坂　匂ひ袋を　買ふことも
まもなく、清水寺の大きな山門が見える。ここは、修学旅行生徒に、観光客に大いに賑わう。山門をくぐると、花の中に大鐘楼が構えて見える。

（俳句）
撮されて　花の山門　くぐりゆく
清水の　鐘楼構え立　花の塵
赤もうせんを床几に敷いて、その名も忠僕茶屋とか、山の桜を眺めながらに心太（とところてん）などを食べるのも乙なもの。
一堂の前にしばらく、静かな花を賞でてのち、本堂に入る。

（俳句）
花茶屋の　もうせん赤し　心太
花屑の　浮く手洗水の　水の上
記念入場券　ちぎられ花の　寺に入る

清水寺本堂に入れば、さすが清水の舞台といわれるだけあって、その高きこと。前方に鳥辺山、新高尾を見て、その眺めは、まさに絶佳。本堂の後方、上には地主神社があり、謡などで、よく知られたとこと。
奥の院から清水の舞台も見ると、その景色はまた格別、高い石段の下には、いまも音羽の滝が清澄な水を流している。清水寺の名がとよりおとるとか。


花の咲きみだれる清水寺

（俳句）
花の山　向いは鳥辺の　山青も
花の寺　音羽の滝の　水澄みて
花の寺　高き舞台を　見上げけり
（短歌）
清水の舞台をぴらにうき上り満開となりし桜映えたり
清水の舞台を見上げつつ山門の横道を入るところ、茶亭がある
花見の酒を出し、弁当を開き、遠く、近くの桜をゆっくりながめる
休憩のあと、霊山（りょうぜん）に向い、高台寺に向う。

（俳句）
花見茶屋　もうせんが赤き　席に坐し
これもよし　裏の花山　歩むとも
霊山には、維新の志士の墓が多く、木戸孝允、坂本龍馬、中岡慎太郎、梁川星巌などの墓がある。霊山観音はそのふもとにあり、戦争犠牲者を祀る。
その北西に高台院（北の政所）ゆかりの高台寺があり、前には高台寺坂が静寂なおもむきに包まれる

（俳句）
霊山の　観音坐して　花の風
土産店ある　高台寺道　花の道
大日傘　赤し茶亭に　花の風

―・―・―

円山公園に近づくところに祇園女御の塚がある。女御は白河法皇の寵愛も受け、法皇を助けた女人とあり、清盛の母とかいわれる人。

（俳句）
祇園女御の　塚うらぶれて　花の風
円山公園の大枝垂桜は祇園の夜桜として有名。あたかも大傘をひろげたような形で枝垂れ咲く。

（俳句）
円山の　大枝垂桜　傘ひろげ
（短歌）
円山の大枝垂桜は満開し　枝ひろげ垂る　かがよひ映えて

―・―・―

平安神宮に近づく　疏水べりは　満開の花で、あたかも　花のトンネルのよう。

（俳句）
疏水道　花満開に　白々と

―・―・―

朱塗の大鳥居をくぐれば、平安神宮。平安神宮は、第五〇代桓武天皇、第一二代孝明天皇の両天皇を祭り、その社殿は平安朝堂院を模してつくられた。向って左に右近の橘があり、向って右の左近の桜はいまを盛りと咲く。
社殿の両翼、右に蒼竜、左に白虎の楼が朱色あざやかに構え立つ。
神苑は東、中、西、南に分れており、神苑入口にあたる南苑の紅大枝垂桜は有名で、桃の花かと思わせる素晴しい桜樹が、藤棚を構えるように枝垂れ咲くさまはまことに見事なもの。

（短歌）
満開の枝垂れ桜は桃色に　枝垂れて咲ゆる神苑美し
藤の花の枝垂るるごとくひらげ咲く枝垂れ桜の夕に映えたり

（俳句）
神苑の　紅枝垂桜　憎まさぬ
西神苑の白虎池には　初夏のころ、花菖蒲、すいれんなどが美しく咲くところ。いまは、池のほとりの桜が美しい。
中神苑の池のほとりには、豊太閤の命を受けた塀田長盛が、三条大橋、五条大橋の橋脚、橋材を用いて造ったものといわれ、飛び石式の橋があり、これを渡（わた）渡りという。

（俳句）
神苑の　渡（わた）渡り石や　花の塵
また神苑の蒼竜池（または栖鳳池）には泰平閣と呼ばれる橋殿があり、それは、大正初年につくられたもの。重層、入母屋造りに青銅の鳳凰屋の棟せ、桜花の枝越しに見て、神苑内第一の勝景である。

（俳句）
神苑の　池をめぐりの　花見よし
泰平閣を　背に花を背に　撮されて
（校友、大阪市福島区役所教育係長）

おねがい
次の方々が連絡不能になっております。ご存じの方は、564吹田市山手町三丁目三五、関西大学校友会事務係までお知らせ下さい。（）内は姓名
昭和九年専門部第二部
▽商業学科　浅妻義男　伊原利秋　井村治　石橋政雄　泉省栄　釣谷孝次（小笠原）　岡崎松則　岡村貫一　奥野忠和　加藤鉱三　加治正信　新川正一（奥野）　川口日出男　川田節　北充晴　肥沼孝一　佐久間兼一郎　佐々子郎　佐竹圭介　金田兼雄　田村四郎　近藤正博　重冠　鶴井正喜代　利倉清　中西正夫　政夫　中村義正　新山富義　渡辺正直　福三（乃万）　浜田三次　林田真一　福原金二郎　藤原敏一　松田義雄　政憲　松本太郎　松本保治　三浦邦紀　宮本敬雄　村上重隆　安永一　山口満　山地善弘　山本弥一郎　吉羽矣夫　和田富蔵
昭和十年専門部第一部
▽商業学科　有本正一　池永作治　東朝次　松下政二　飯田勝二　石見淳次　磯野矣男　内橋昊　衛藤哲士　小笹清一　大西俊三郎　荻田兼雄　折島彰　加地義弘　梶新蔵　片山正雄　草深信義　楠瀬清一　野口富夫　野辺直三　野村茂　平井茂　福三郎　福原恒夫（常岡）　寺本政一　飯田勝一　石橋義治　鶴光